



ヌ マ ル

NUMARU

シナリオ・企画：みつみ
作画：真冬



彼女とは
月に1、2度会う

彼女は実家暮らしなので
俺の家に泊まりに来るのが
お決まりだ

夜、同じベッドで寝れば
まあ、することになるわけで…



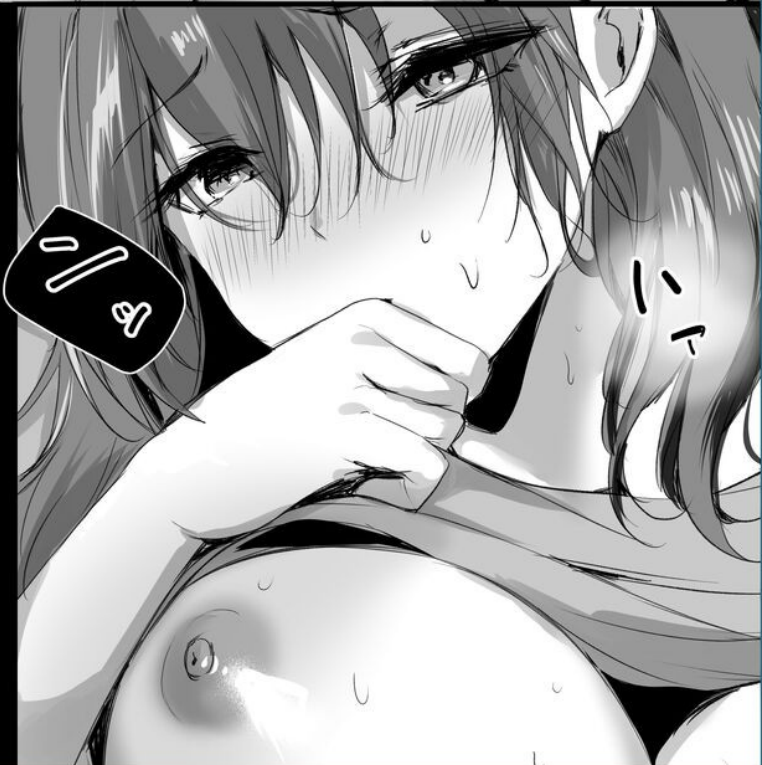
前戯もして

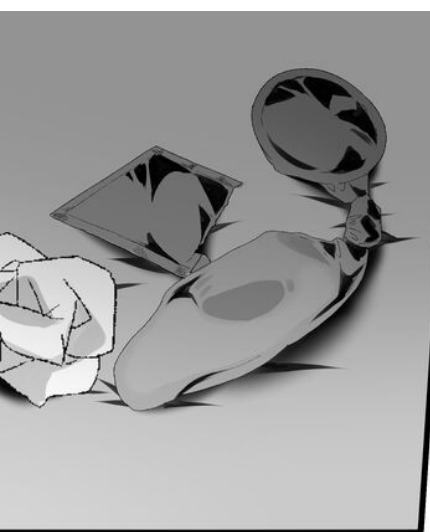
攻めに攻めて…

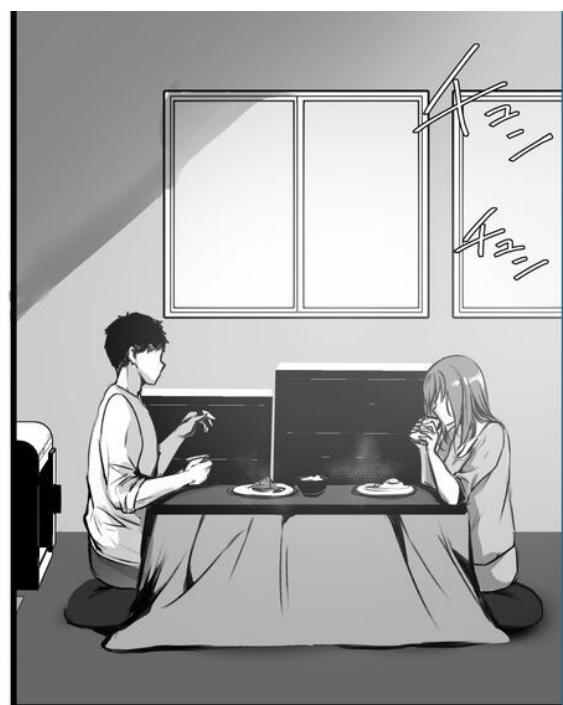


キスして
抱きしめて

繋がって…









これが
マンネリっていうもんなのか…
いつからか
彼女に対しては恋愛…というより
家族愛？のようなものになつて…



俺の中では…
なんというか

恋人とは
違う存在になっていた



うん？



はい…

突然すみません…

一週間前に隣に
引っ越してきたん
ですけど…

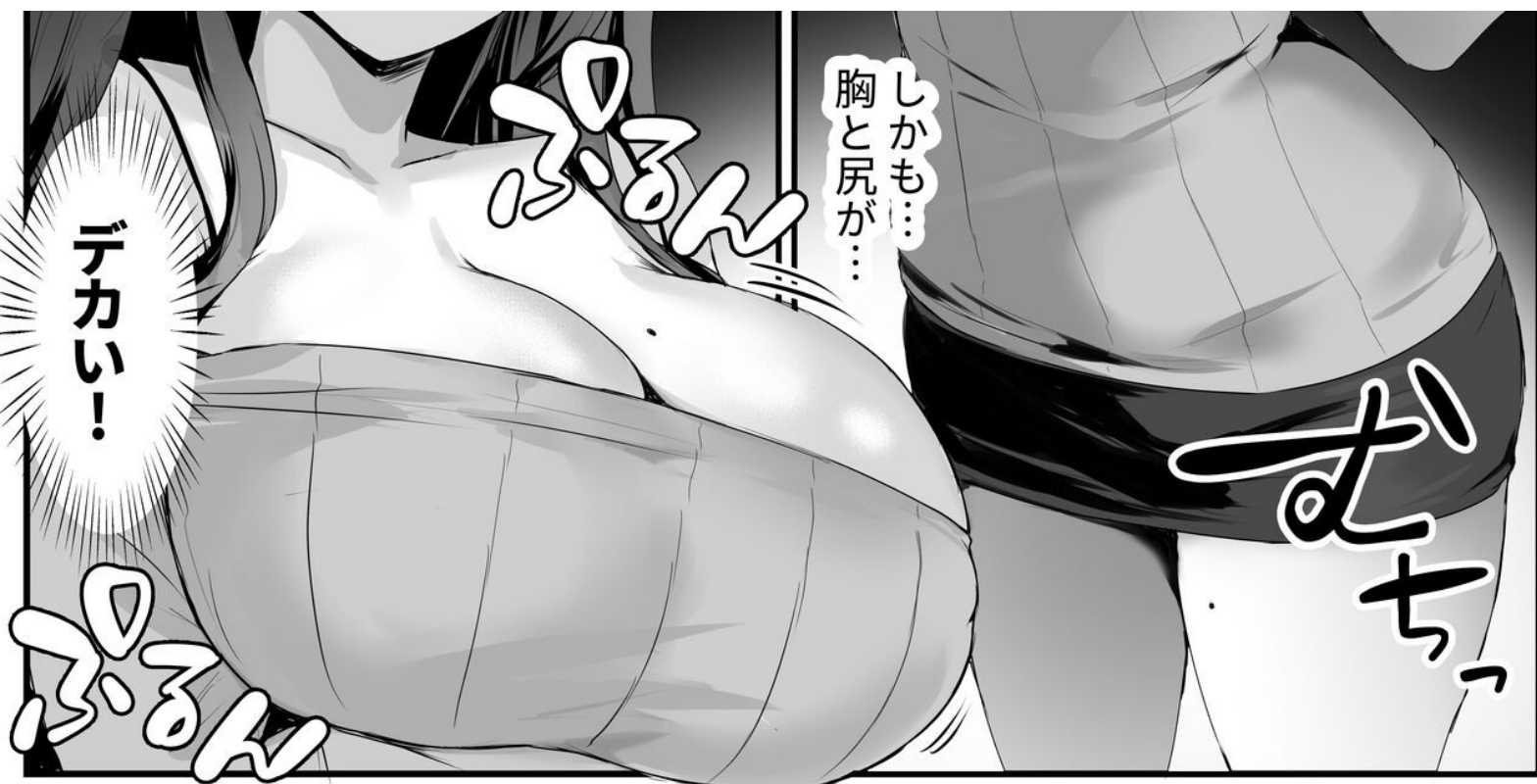
加賀 里香
って言います…

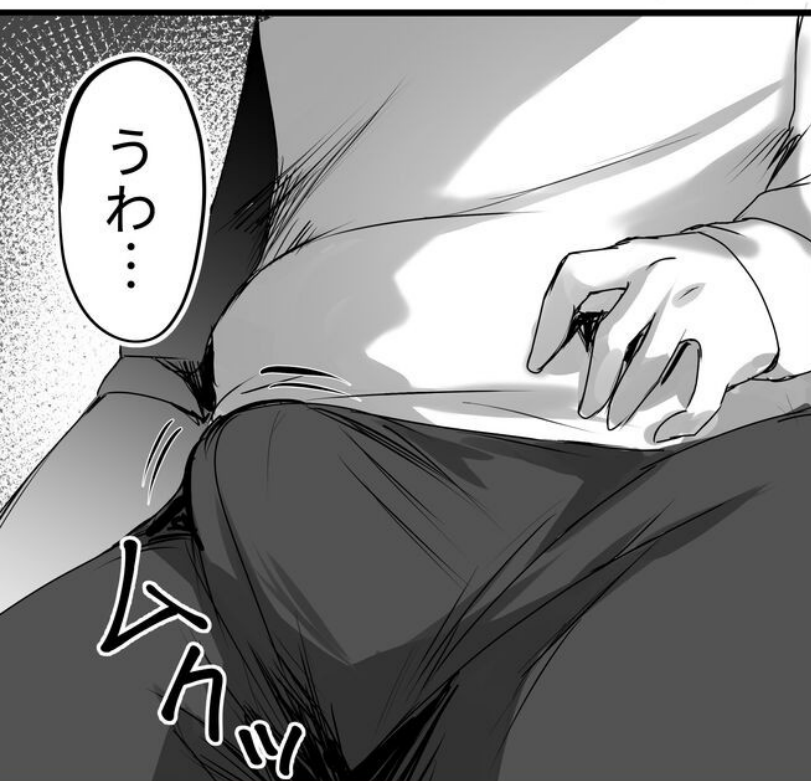
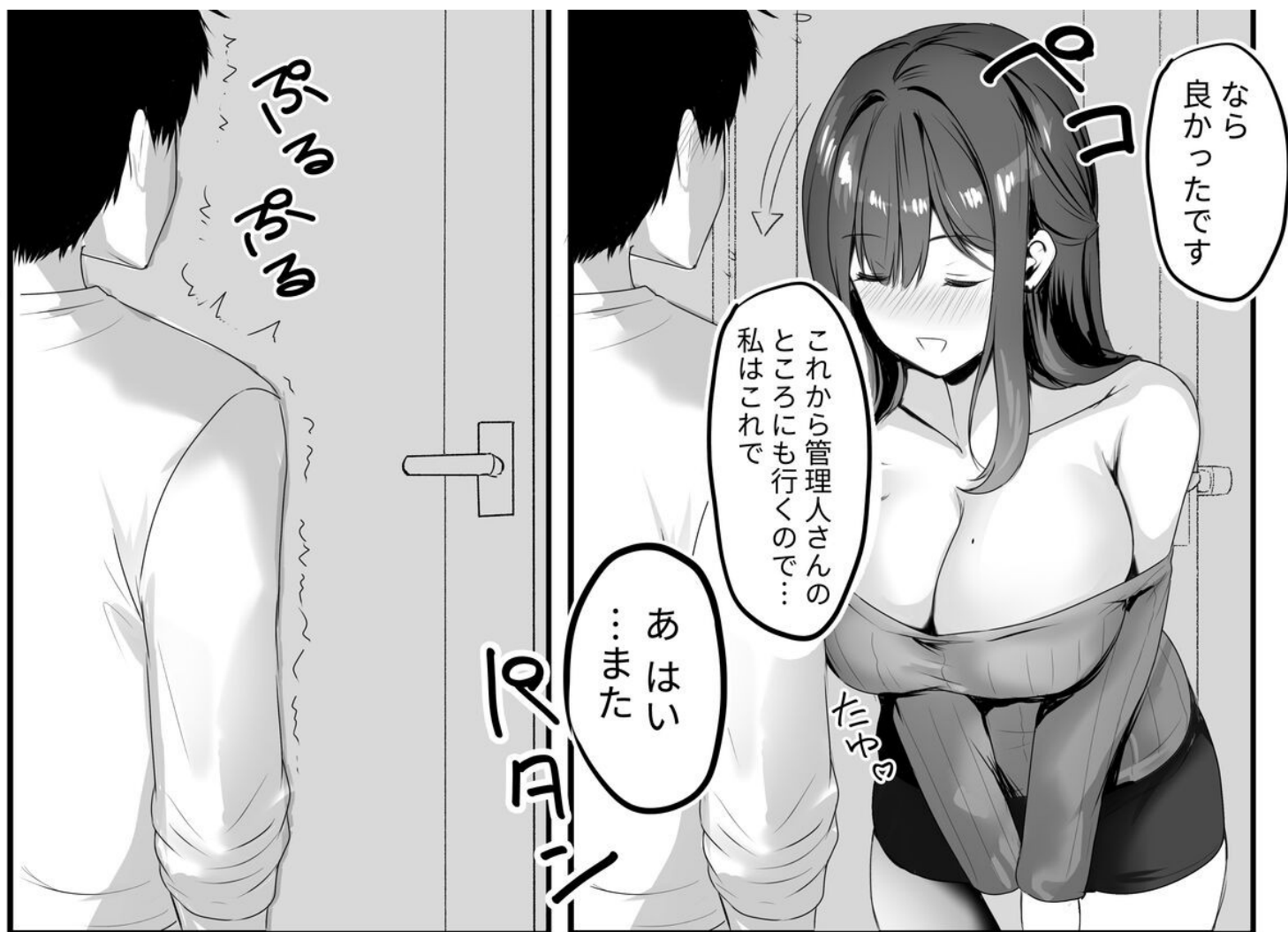
うわ…！

ムチ

めちやめちや
美人…！

たゆん





それから
ちよくちよく
お隣さんとは顔を
合わせるものが
あった

ガチャッ

おはようございます

あっ

おはようございます
朝早いですね

ニニッ

はい♪
駅にあるカフェの
モーニングセットを
食べに行つてて

コッ

コッ

あーあそこ
美味しいですね

そんな
ある日だった

ごめん
ひろくん

今週
行けそうにないや…

会おうと思えば
別日にいくらでも
会えるし

うん
ありがと

グッ…

そっか…まあ
仕方ないよ
仕事入ったんなら



ーア

ーア

家に二人でいると
不意に寂しくなる瞬間がある
もう一人暮らしなんて
何年もしてるのに

心の虚しさ
どうしようもない寂しさが
押し込んできて

一人でする回数も増えた

ーア

グッ



変わったことといえば…

AVを見てやる度に頭の中で
思い浮かべるのは彼女ではなく

隣人の里香さんだった

あ、の胸に抱かれて
お尻を揉みしだきながら

滅茶苦茶に乱れさせて
思いつきり中出ししたい！

ハァ

ハァッ

ハァ

ビクッ

ビクッ

ハァ

あっ♡
里香さんっ!!

誰だよ…!!
こんな時に…!!

もう少しで
射精そうだったのに…!!

はい
今出ます！

はい……って……

グチャ

里香さん!?

やばい白ティー……
黒いブラうっすら
透けてるし……

しかもホットパンツとか……
太もものほくろエロツ……

あ……すみません
もしかして……
忙しかったですか?

あいや……!
全然大丈夫です

むちっ

あの……肉じゃが……
大量に作っちゃったので
良かったらいるかな……
なんて……

まずい……
さっき途中で
終わっちゃったから……
めっちゃめっちゃ勃ってる……

せー

せー

やばい…視界に
入るものすべてに
反応する…

デレ…

あ…はあ…
ありがとうございます
ございます

あの…

ここ凄いことに
なってますよ…?

えっと…
これは…その…

それに

知ってました?
このアパート
物凄く壁が薄い
みたいなんです

ニヤ…

スッ

えっ…
それって…

さっき私の名前
呼んでましたよね?

いやさっきだけ
じゃないか♡

いやらしい声も
漏れてましたよ?

ねえ一体何回私で
抜いたんですか？

僕は彼女と
付き合っって長くて
結婚も考えていて

マズイマズイ
マズイマズイ…

ねえ想像だけ
じゃなくて…

実物の私で
抜いてみませんか？

絶対あっちゃ
イケナイって…

だからこんな
ハニートラップ
みたいな





ちゃっ

思っのこ...

はっ

はっ

れっ

ちゃっ

ほらこれ宏隆さんの
好きにしていいいんですよ？

いっつも
見てましたもんね？
私のおっぱい

はっ

はっ

大きいっ...

おっぱい気持ちよすぎる！
手からはみ出すほど
デカくて...重くて...！

むっ

もう無理だ！



こんなのが目の前にあって
我慢できるはずなんてツ！

フフツ
そんなに夢中にな
るなんて…嬉しい♡



飽きるまで
好きにして
いいですよ♡

はぁっ







可愛い♡
まるで赤ちゃんみたいね
すごく気持ちいい♡

ちやろ

レロキ...

はっはっ♡

でも...

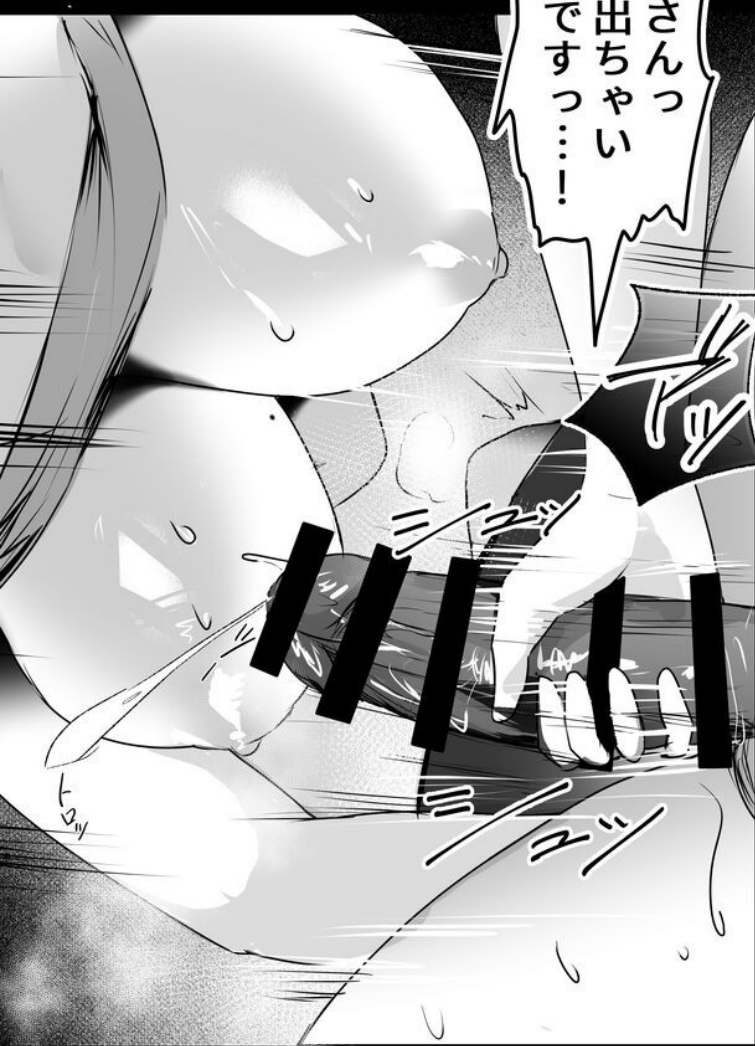
びしょ

フーッ





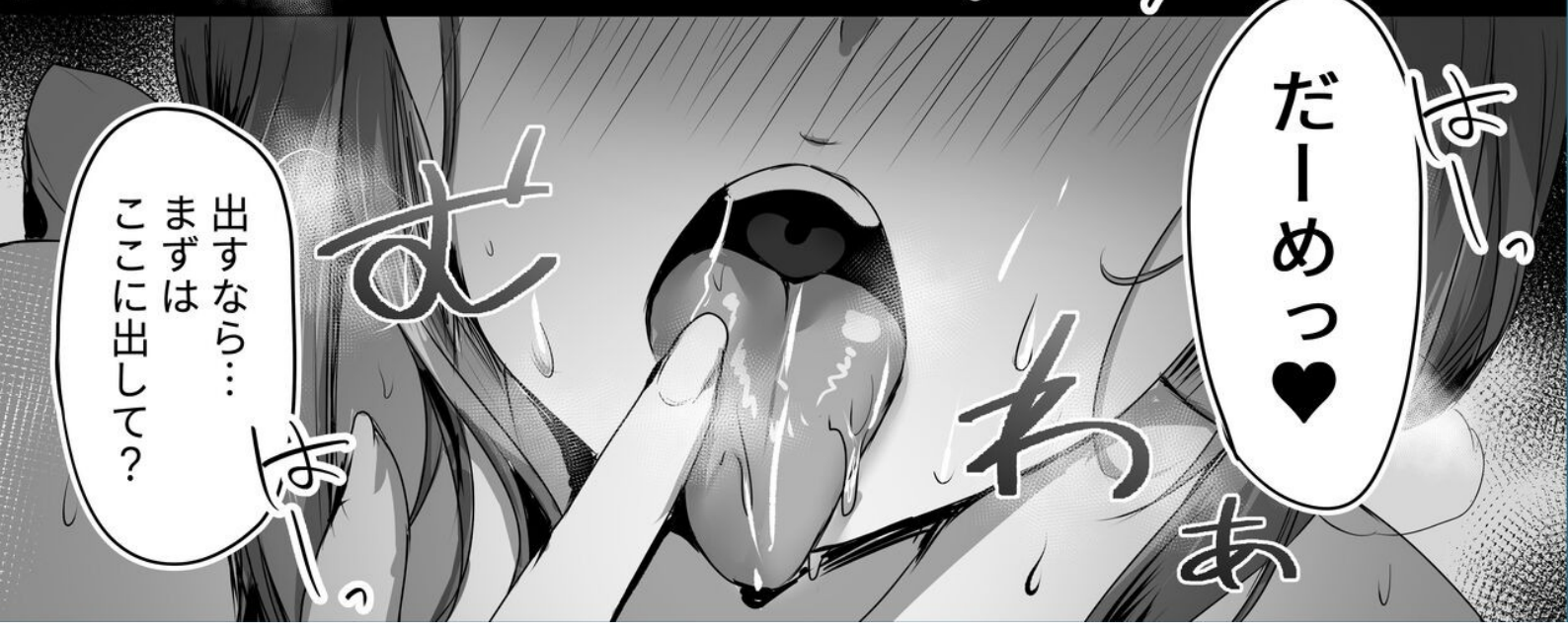
里香さんっ
もう出ちやい
そうですっ…!!



あっ!
それっ…ヤバいッ

あゝあゝ

あゝあゝ



だーめっ♡

出すなら…
まずは
ここに出して??

あゝ

あゝ

あゝ







いっぱい出たのに
まだ元気だね♥



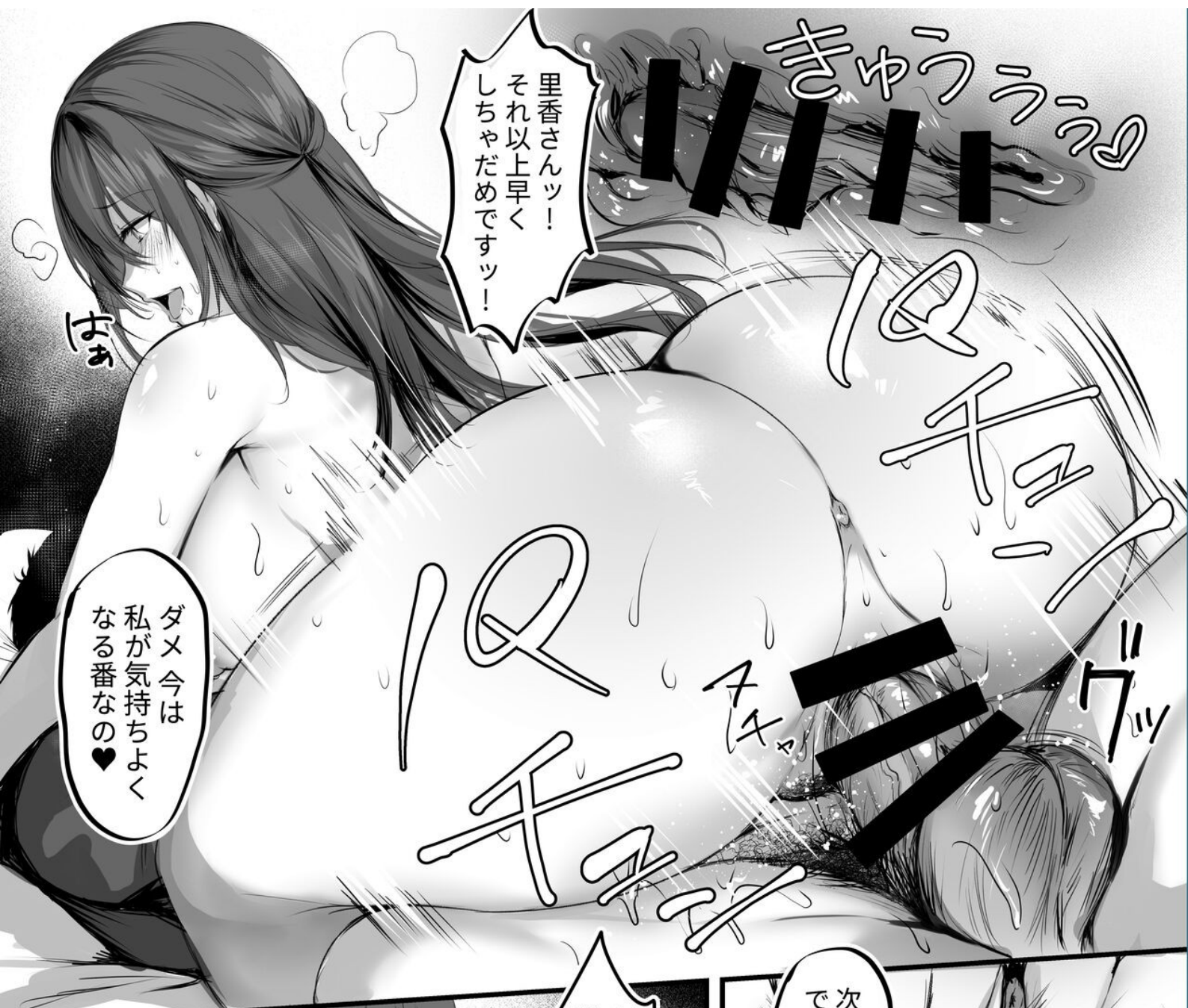
それから
僕は……

あーん
宏隆君のおちんぽ
太すぎてキツキツ……!

あーん
里香さんのナカ……
熱くて
気持ちいですッ!

あーん
良かった♡
一緒に気持ち
良くなる?♡





里香さんッ！
それ以上早く
しちゃだめですッ！

はあ

ダメ今は
私that気持ちよく
なる番なの♡



あっ♡
だめえッ♡

その態勢
すぐイっちゃう
からあ！

ガク
ガク



次は僕の番
ですからね



あっ♡
クリ責め
やらあ！♡

これ好き
なんですネッ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

なら
イっちゃんえ!!

あ
あ
あ

あ
あ
あ

きゅん♡

きゅん♡

あっ♡あっ♡
ごめんなさい!!



イクイク
イクイクツ！

それは
あまりにも
気持ちよすぎる
エッチで：

宏隆くんっ
きもちいい♡

里香さん：
僕も：僕も
気持ちいですッ

何もかもを
忘れてしまっ
ぐらいだった！



その日以来、
僕と里香さんは
時折体を重ねることがあった

里香さんの身体にも

テクニックにも…

何もかもにハマっていくのが
自分でも分かっていた。

お互いがお互いを
求めあって

ハア…あっ！
イクツ…！！

まるで獣みたいに
激しいエッチを繰り返した。

身も心も
満たされていた
ある日

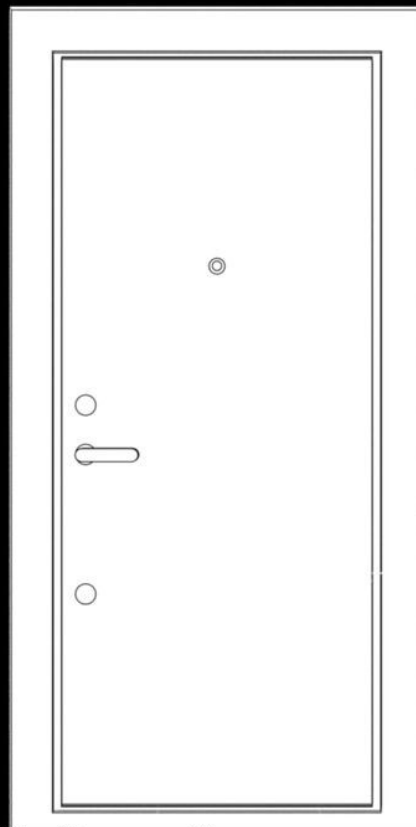
びゅる



彼女は何も告げずに
引越していった：



俺の身体には里香さんとの
快感がしっかり刻まれていて：



そしてその快感を
忘れることなんてできずに、
未だにヌマに浸かっている……